

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛、なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 迄お送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

東北大学大学院理学研究科天文学専攻教官

1. 教授 1 名
2. (1) 東北大学大学院理学研究科天文学専攻 天文学講座 (2) 東北大学大学院理学研究科 (仙台市青葉区)
3. 天文学
4. 理学研究科ならび理学部における天文学の研究、教育、運営。
5. (1) 平成 15 年度のできるだけ早い時期。
6. 大学院博士課程修了または同等以上。
7. 履歴書、研究歴、業績リスト、主要論文（5 編以内）、研究計画書、本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先。
8. 2002 年 10 月 15 日(火)（必着）
9. (1), (2) 天文学専攻長 土佐 誠
東北大学大学院理学研究科天文学専攻
〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉
Tel: 022-217-6501 Fax: 022-217-6513
E-mail: tosa@astr.tohoku.ac.jp
10. 応募書類は封筒に「親展」と朱書きし、書留で送付のこと

東京大学大学院理学系研究科教官

1. 助教授 1 名
2. 地球惑星科学専攻宇宙惑星科学講座
3. 宇宙空間・天体周辺（地球・惑星・太陽・太陽圏・原始天体など）における物理的素過程・物質輸送過程・エネルギー変換過程などを対象とした研究。理論・解析・観測・実験の別を問いません。
4. 上記分野の研究に主導的役割を果たすとともに、将来の宇宙惑星科学への展開に意欲的に取り組む方。着任後は他の教官（項目 11 参照）と協力して宇宙惑星科学の研究、および大学院・学部教育を積極的に推進していただきます。
5. (1) 平成 15 年 4 月 1 日を予定
6. 博士号取得者
7. (a) 履歴書、(b) これまでの研究概要（1600 字程度）、(c) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別してください）、(d) 主な原著論文の別刷またはコピー（5 編）、(e) 今後の研究・教育の計画・抱負（1600 字程度）、(f) 自薦の場合は応募者に関して御意見を頂ける方 2 名の氏名及び連絡先（住所、電話、電子メール）、(g) 他薦の場合は、推薦書の他に、前記事項 (a)～(d) の概要がわかる書類
8. 平成 14 年 8 月 23 日(金)必着
9. (1) 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院理学系研究科
地球惑星科学専攻長 星野真弘
Tel: 03-5841-4584
E-mail: hoshino@eps.s.u-tokyo.ac.jp
(2) 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院理学系研究科
地球惑星科学専攻 寺沢敏夫
Tel: 03-5841-4582
E-mail: terasawa@eps.s.u-tokyo.ac.jp
10. 封筒の表に「宇宙惑星科学講座助教授公募書類在中」と朱書きし簡易書留にてお送りください。
11. 当該講座の教官リスト(本公募以外、平成 15 年 4 月 1 日時点での見込み)
宇宙空間物理学分野 教授 星野真弘、助手 三浦彰
磁気圏物理学分野 教授 寺沢敏夫、助手 山本隆
観測惑星科学分野 助教授 岩上直幹、助手 杉田精司
比較惑星科学分野 教授 杉浦直治、
助教授 佐々木晶
惑星物質科学分野 教授 宮本正道、
助教授 比屋根肇、
助手 三河内岳

◎当該講座の概要など、詳しくは当専攻 WEB:
<http://www.eps.s.u-tokyo.ac.jp/jp/>をご覧ください。

宇宙科学研究所教官公募

[I]

1. 助手 1 名
2. 宇宙科学企画情報解析センター
3. 本センターでは科学衛星データのアーカイブシステムの構築およびデータ解析支援システムの開発を中心的課題として取り組んでいます。また、センター計算機、衛星運用計算機、所内 LAN の管理運営を行っています。さらに、衛星観測データの解析やスーパーコンピュータを用いた計算機シミュレーションの全国共同利用研究を進めています。今回の公募では、宇宙科学分野で衛星観測データを用いて先進的な解析の研究を遂行していただくとともに、大学共同利用機関としての宇宙科学研究所の役割を理解し、本研究所が今後打ち上げる衛星（赤外線天文衛星 Astro-F、X 線天文衛星 Astro-E2 等）で取得する大容量観測データのアーカイブ化および解析システムの開発において中心的な役割を果たしていただける人材を求めます。
5. 決定後できるだけ早い着任を希望。
6. 博士の学位を有する者、あるいは同等の研究能力を有すると認められる者。
7. (1) 略歴、(2) 研究歴、(3) 論文リスト、及び主要論文別刷（5 編以内）、(4) 研究計画書、(5) 自薦の場合は本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先、他薦の場合は 2 名の方からの推薦書。
8. 2002 年 8 月 23 日(金)必着
9. (1) 〒 229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学研究所 庶務課人事係
Tel: 042-759-8010
- (2) 〒 229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学研究所 宇宙科学企画情報解析センター長 長瀬文昭
Tel: 042-759-8351
E-mail: nagase@astro.isas.ac.jp
10. 封筒の表に「宇宙科学企画情報解析センター助手応募書類在中」と朱書きしてください。選考は、宇宙科学研究所運営協議委員会において行います。応募者に適任者がいない場合は決定を保留することがあります。

[II]

1. 助手 1 名
2. 次世代探査機研究センター
3. 次世代探査機研究センターは、将来の月・惑星の探査や高精度の天文観測などに必要な新しい探査機システムや要素技術の先行的な研究を行うことを目

的としています。今回の公募では、将来の月・惑星探査のための要素技術、特にセンサー、耐放射線技術や高温素子の研究開発に意欲のある方を希望します。また、大学共同利用機関である本研究所の役割を理解し、共同利用諸計画の遂行に積極的な役割を果たしていただく必要があります。

5. 決定後できるだけ早い着任を希望。
6. 博士の学位を有する者、あるいは同等の研究能力を有すると認められる者。
7. (1) 略歴、(2) 研究歴、(3) 論文リスト及び主要論文別刷（5 編以内）、(4) 研究計画書、(5) 自薦の場合は本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先、他薦の場合は 2 名の方からの推薦書。
8. 2002 年 8 月 23 日(金)必着
9. (1) 〒 229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学研究所 庶務課人事係
Tel: 042-759-8010
- (2) 〒 229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学研究所 次世代探査機研究センター長 小林康徳
Tel: 042-759-8362
E-mail: ykobaya@pub.isas.ac.jp
10. 封筒の表に「次世代探査機研究センター助手応募書類在中」と朱書きしてください。選考は、宇宙科学研究所運営協議委員会において行います。応募者に適任者がいない場合は決定を保留することがあります。

京都大学大学院理学研究科附属天文台教官

1. 助教授又は助手 1 名
2. (1) 京都大学大学院理学研究科附属天文台
(2) 岐阜県吉城郡上宝村蔵柱 飛騨天文台
3. 物理学・宇宙物理学
4. 太陽観測を中心とした、天文学の観測的教育研究
京都大学大学院理学研究科附属天文台では、太陽物理学及び太陽宇宙プラズマ物理学の研究を更に推進するため、今年度（14 年）に新しく、太陽活動総合観測システム（太陽磁場活動望遠鏡、多チャンネル撮像装置）が予算化され、現在この建設を行っています。この新装置の建設及び立ち上げの中心となると共に、この装置と既設のドームレス太陽望遠鏡等の装置を用いて、太陽磁場活動の研究を積極的に推進する方を求めています。過去の経験の有無は問わず、広く人材を求めます。
5. (1) 決定後、なるべく早い時期。
6. 大学院博士課程修了、又はその見込みの方

7. (1) 略歴書, (2) 研究成果説明書 (これまでの研究成果の概要を説明したものに, 研究論文リストと主要論文別刷を添付すること), (3) 希望する職種 (助教授又は助手), (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先,
8. 2002年9月13日(金)必着
9. (1), (2)
〒607-8471 京都市山科区北花山大峰町
京都大学 花山天文台 黒河宏企
Tel: 075-581-1235
Fax: 075-593-9617
E-mail: kurokawa@kwasan.kyoto-u.ac.jp
http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp
10. 封筒の表に「応募書類在中」と朱書し, 郵便の場合は簡易書留でお送り下さい.

国立天文台 VLBI 分野助手

1. 助手1名
2. (1) 地球回転研究系
(2) 東京都三鷹市または岩手県水沢市
3. 超長基線干渉計 (VLBI) 分野
天文広域精測望遠鏡 (VERA)を用いて早期に学術成果をあげ, 天文学および関連分野の研究を推進する意欲的な助手を求めます.
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し共著の主要論文には役割分担を記すこと), および主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に, 前記事項(1)~(4)の概要がわかる書類.
8. 2002年9月10日(火)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒023-0861 岩手県水沢市星ガ丘町 2-12
国立天文台地球回転研究系主幹 真鍋盛二
Tel: 0197-22-7133
E-mail: manabe@miz.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「地球回転研究系助手応募書類在中」と朱記し, 郵便の場合は簡易書留でお送り下さい. 選考は国立天文台運営協議委員会において行います.

国立天文台研究員公募

1. 研究者若干名
2. (1) データベース天文学分野
国立天文台データベース天文学推進室が進めている Japanese Virtual Observatory の構築に従事し, データベース天文学分野における先進的な研究開発を推進する.
(2) 下記の(a)(b)とも主として東京都三鷹市
(a) JVO の標準データモデル, データベースやその関連ツール等の構築に関する主として天文学的な面からの研究開発
(b) GRID 上における計算機資源の登録・モニター機能・データ解析ツール等に関する主として情報学的な面からの研究開発
3. 広い意味での天文学もしくは情報学 (計算機科学)
5. (1) 平成14年9月以降なるべく早い時期
(2) 任期は原則として2年
6. 大学院修士課程修了, 又はそれと同等の学力を持つ者.
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと), (4) 主要論文の別刷又はコピー, (5) 研究計画書 (希望の分野 (a) または (b) を明記のこと. 併願の場合はそれぞれの計画書), (6) 推薦書 (ある場合は添付) もしくは本人について意見を聞ける方2名の氏名, 連絡先
8. 平成14年7月31日(水)17時までに必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台天文学データ解析計算センター長 水本好彦
Tel: 0422-34-3514
10. 封筒の表に「データベース天文学研究員応募書類在中」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留で送付すること.
11. 教務補佐員としての給与を支給する (詳細については上記に問い合わせること). 2の(a)また(b)に併願可能であるが, それぞれに応募書類を提出すること. なお, 勤務時間のおよそ半分は自らの研究に当てることができる. またデータベース天文学に関しては, 天文月報 2002年6月号を参照のこと.

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

国立天文台電波天文学研究系助教授

1. 第94巻12号
2. 阪本成一（国立天文台助手）

宇宙科学研究所宇宙圏研究系助教授

1. 第95巻1号
2. 山崎典子（東京都立大学）
3. 2002年7月1日

研究助成

2002年度「朝日賞」候補者の推薦について

朝日新聞文化財団より標記の依頼がきております。
推薦票は天文学会事務所にあります。

1. 候補者の対象：わが国のさまざまな分野で傑出した業績をあげ、文化・社会の発展向上に多大な貢献された個人または団体。
2. 締切：2002年8月30日（金）「朝日賞」係必着
3. 発表：2003年元日の朝日新聞紙上

お問い合わせ及び送付先：〒104-8011 中央区築地5-3-2
朝日新 企画局文化メセナ・スポーツ部
「朝日賞」係
Tel: 03-5540-7453
Fax: 03-3541-8999

研究会・集会案内

岡山天体物理観測所の特別公開のご案内

国立天文台・岡山天体物理観測所（OAO）は、来る8月24日（土）に「もう一つの太陽系を探せ（系外惑星探査）」のテーマにて特別公開を行います。私たちの住む地球は、太陽の周りを回る太陽系の一員です。宇宙には我々の太陽系以外の別の太陽系はあるのでしょうか？今年の特別公開では、ほかの太陽系を探す研究の最前線とOAOの取り組みを紹介します。188cm望遠鏡をはじめとする施設紹介も行います。入場無料です。

日時：2002年8月24日（土）10:00～17:00を予定しています。

場所：岡山県浅口郡鴨方町本庄

国立天文台・岡山天体物理観測所

テーマ：「もう一つの太陽系を探せ（系外惑星探査）」
〈最新科学成果のわかりやすい紹介と望遠鏡・ドーム・観測装置の説明・紹介を行います。〉

〈岡山天文博物館では、プラネタリウム「銀河鉄道999－消えた太陽系－」の放影、太陽観測のほか、子供相手のイベント（星座・天体ビンゴゲーム、クイズラリー、星座ランキング、工作・実験）を予定しています。〉

参加方法：自由。ただし、小学校低学年は保護者同伴のこと。

入場料：無料

博物館：無料開館

交通：JR鴨方駅から遙照山行きバスを利用、天文台までの所要時間約25分（バスの便数が非常に少ないのでご注意ください）

自家用車の場合、国道2号線鴨方ロータリーから北へ10km天文台まで約20分。又は山陽高速鴨方インターを降りて北へ7km天文台まで約15分。

お問い合わせ：

国立天文台・岡山天体物理観測所広報普及係

〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町本庄3037-5

Tel: 0865-44-2155〔代表〕

（休祭日を除く月曜～金曜の勤務時間内）

Fax: 0865-44-2360

URL: <http://www.cc.nao.ac.jp/oao>

「太陽宇宙デジタルライブ」

京都大学花山・飛驒天文台連携同時一般公開のお知らせ

京都大学花山天文台と飛驒天文台では、来たる9月28日に同時に連携して一般公開を行います。施設の公開・展示陳列と天体観望会を行い、また、ネットワークを経由して両天文台で観測された天体画像を相互にリアルタイムで上映します。花山・飛驒天文台で現在行われている最先端の天文学研究を、わかりやすく説明しますので、お気軽にお越し下さいますよう、ご案内申し上げます。

＜一般公開＞

日時：2002年9月28日(土) 13時～20時30分

場所(1)：京都市山科区北花山大峰町

京都大学大学院理学研究科附属花山天文台

(2)：岐阜県吉城郡上宝村蔵柱

京都大学大学院理学研究科附属飛驒天文台

公開施設と内容：花山・飛驒天文台の主要な観測施設、研究施設などの公開および展示陳列

天体観望会：

(1) 花山天文台

13時～16時

ザートリウス18cm屈折望遠鏡および70cmシーロスタット分光望遠鏡による太陽像と分光スペクトル観望。また、ネットワークを用いて飛驒天文台で観測された太陽像をリアルタイムで上映する。

18時～20時30分

45cm屈折望遠鏡による天体観望

(2) 飛驒天文台

13時～16時

ドームレス太陽望遠鏡およびフレアモニター望遠鏡による太陽像と分光スペクトル観望。花山天文台で観測された太陽像のリアルタイム上映。

18時～20時30分

65cm屈折望遠鏡及び60cm反射望遠鏡による天体観望。65cm屈折望遠鏡による天体画像のインターネット公開

＜交通機関＞

(1) 花山天文台

地下鉄東西線蹴上駅より徒歩30分、または、京阪三条駅よりタクシー約10分(約1300円)

蹴上駅～花山天文台間はシャトルバスを運行する予定

(2) 飛驒天文台

公共交通機関がないので自家用車のみ。
(高山市から車で約1時間)

＜申し込み方法＞

(1) 花山天文台見学は、事前申し込みは不要。

Tel: 075-581-1235 Fax: 075-593-9617

(2) 飛驒天文台見学希望の方は、9月21日までに、往復ハガキに住所、氏名、電話連絡先、を書いて申し込む。(団体の場合は代表者の住所、氏名、電話連絡先のほかに、見学者の総数と各人の氏名も洩れなく記入のこと。) 先着100名まで。ハガキの宛先は、〒506-1314 岐阜県吉城郡上宝村蔵柱京大飛驒天文台
Tel: 0578-6-2311 Fax: 0578-6-2118

＜花山・飛驒天文台のホームページ＞

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

独立行政法人通信総合研究所

平磯太陽観測センター一般公開

平磯太陽観測センターでは、将来、宇宙天気予報を実現すべく、太陽フレア(太陽面爆発)等の様々な太陽活動現象の発生機構の解明及びその監視・予知技術の確立をめざした研究及び開発を行なっています。当日は、太陽の光学/電波観測装置や太陽地球環境情報サービスなどを公開する予定です。

日時：7月27日(土) 10時～16時

場所：〒311-1202 茨城県ひたちなか市磯崎3601

平磯太陽観測センター(駐車場有り)

交通：北関東自動車道ひたちなかICより車で5分

常磐自動車道那珂ICより車で30分

JR常磐線勝田駅よりタクシーで20分

茨城交通湊線磯崎駅より徒歩20分

お問い合わせ：

Tel: 029-265-7121(代表)

URL: <http://sunbase.crl.go.jp>

E-mail: rwc@crl.go.jp

第 52 回科学講演会

主催：財団法人 東レ科学振興会

後援：日本天文学会，他

とき：2002 年 9 月 13 日(金)

開場 17 時 30 分～終演 20 時 40 分

ところ：有楽町朝日ホール

テーマ：光をあやつる・光をつかむ

その他：入場無料・予約なし（定員 630 名）

問い合わせ先：

財団法人東レ科学振興会

千葉県浦安市美浜一丁目 8 番 1 号

Tel: 047-350-6103

Fax: 047-350-6082

E-mail: JDP00120@nifty.ne.jp

URL:

<http://www.toray.co.jp/aboutus/tsf/kagaku.html>

③国際共同研究については、渡航先の招聘状および研究計画の概要

④研究集会参加については、当該研究会開催の主旨を説明する資料、プログラム、および応募者の寄与（口頭発表等）を証明するもの

⑤大学院生の場合、研究指導者の自筆署名

⑥航空運賃の見積書。渡航後の場合は領収書のコピーを添付する。

⑦関連研究論文の写し（一編，6 部）

5. 応募締切：2002 年 9 月 10 日必着

6. 決定時期：2002 年 9 月下旬

7. 応募書類送付先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 日本天文学会 早川基金募集係

*早川基金内規による援助対象資格は「日本天文学会正会員で、原則として 35 歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費（滞在費を除く）の援助を受けない者。」です。

◎以前の申請用紙を用いたものは認められません。詳細は、天文学会のホームページ <http://www.asj.or.jp/> の「早川幸男基金」の部分をご覧ください。若手天文学研究者の皆様の積極的な応募をお待ちしております。

◎尚、本募集は 3，6，9，12 月の 10 日締切で年間 4 回募集しております。

会務案内

日本天文学会早川幸男基金受給者募集要項

日本天文学会 早川幸男基金（若手海外学術研究援助基金）内規*に基づき、海外学術研究に対して援助を希望する者を募集（2002 年度第 4 期）致します。

1. 援助金総額 : 年間 270 万円（2002 年度予算）
2. 援助件数 : 年間 20 件程度
3. 募集対象期間 : 2002 年 10 月 1 日～12 月 31 日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わず、すでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類 :
 - （少なくともコピーの分は A4 紙に統一すること）
 - 原本 1 部，コピー 5 部。
 - 書類（特にコピーの分）に不備があると審査段階で不利益を被る恐れがありますのでご注意ください。
 - なお、渡航目的と応募者の研究内容との関連は詳しく書くこと。渡航費見積金額は航空運賃を記入して下さい。
 - ①論文リストを含む研究業績
 - ②観測については、観測割当通知および観測提案の写しか、それに準ずるもの

その他

理化学研究所より

ビデオ『元素誕生の謎にせまる』増補版・解説冊子付【文部科学大臣賞 受賞作品】
頒布のお知らせ

(ビデオの内容については、本号 399 ページの書評で紹介されています)

●教育用無料頒布：

日本語増補版は、高校・大学の授業や、図書館・科学館・公開天文台での設置等の教育目的に使用される場合に限り、理化学研究所より無料で頒布を受けられます。この教育目的のための無料頒布を希望する場合には、氏名、勤務先、勤務先の住所、電話・ファクス番号、Eメールアドレス、使用目的（どのような授業で使用する予定か等、具体的に）を明記の上、理化学研究所 広報室 元素ビデオ担当まで、Eメールかファクスにて申し込んで下さい

E mail: koho@riken.go.jp

Fax: 048-462-4715

問い合わせ先 Tel: 048-467-9272

申し込み期限は特に設けておりませんが、無料頒布の本数には上限がありますことをあらかじめご承知おき下さい。またビデオの発送は、お申し込みをお受けした後、1ヶ月程度かかります。

●一般実費頒布：

上記の教育目的以外でのご使用や、個人的にご購入を希望される場合は、イメージサイエンス社ホームページ <http://www.image-science.co.jp/element/> を通して、2600 円（税・送料別）の実費価格にてご購入できます（問い合わせ先 Tel: 03-3404-7817）。

●上記 URL にて英語版も実費価格でご購入できます。

訂正

天文月報第 95 巻 3 号 166 頁に掲載の退会正会員の
名簿の方々のうち、中井善寛様のお名前を削除致します。

編集委員 上野宗孝（編集長）、伊藤孝士、上田暁俊、大石奈緒子、太田耕司、

小野智子、斎藤芳隆、土橋一仁、内藤統也、藤田 裕

平成 14 年 7 月 20 日

発行人 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内

社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒 162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12

啓文堂 松本印刷

定価 700 円（本体 667 円）発行所 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内

社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務室）／ 0422-31-5488（月報・欧文編集） Fax: 0422-31-5487

振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 E-mail: toukou@geppou.asj.or.jp DTP: 峯尾由紀子